

2018-08-12(日)

シェア自転車をさらに使ってみる

1度使ってみてシェア自転車の利用方法が分かったので、休日のお出掛けではなく日常生活で使ってみた。

我が町練馬区の実験区域で使われているシェア自転車は、電動アシストと変速ギアが付いた 20 インチの自転車だ。使い方を知った上で乗りたいと思って、[シェア自転車のポータルサイトで車種を調べ](#)、[メーカーのホームページ](#)から取扱説明書をダウンロードした。プリントアウトしてアシストモードの違いやギアの使い方、バッテリー残量表示の見方など必要なところだけ読んだ。

目的地までのバスはちょうど良い時間のがなくて、少し遠い最寄駅までシェア自転車で行き、そこから電車に乗ることにした。駅前にポートがあるので駅までシェア自転車を使うというのは使い勝手が良い。最寄駅までバスで行く代わりにシェア自転車で行くと、30分未満なら利用料は150円なのでバスより安く良い。目的地までバスで行く代わりに、シェア自転車と電車を使うと高くつく。

家から5km程度で、自転車で35分くらいの場所にある実家に行くのにシェア自転車を使った。家から一番近いポートには自転車がなく、仕方なく2番目に近い場所に借りに行った。必要な荷物を受け取ってさっと帰れば午前中に帰れる。と思ってたのに、母に誘われて近所に住んでいたおばあちゃんの家にお線香を上げに行ったりお昼を食べたりして、帰りは一番暑い時間帯になってしまった。帰りは家に一番近いポートに自転車を返したものの、荷物を持って家まで歩く7分が長く感じられた。

シェア自転車をバスや車の代わりに使うならエコだと思う。だけど今まで使っていた26インチのタウン車に電動アシストは必要なかったし、それを使えば電動アシストによるエネルギー消費はない。家から1km程度のスーパーに行くのには、シェア自転車を借りるより、最短距離の道を探して歩いた方が良くも。



彼岸花: [イラスト AC](#)

著者: minima
アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット
会員。この連載をまとめた電子書籍
[「エコな買物がしたい」](#)がアマゾンにて販売中。